

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100237		
法人名	株式会社長野野介護センター		
事業所名	グループホームまめじま		
所在地	長野県長野市大字大豆島833-1		
自己評価作成日	平成 26年 8月 18日	評価結果市町村受理日	平成 26年 10月 17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kajikokensaku.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=2090100237-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 26年 9月 12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員一人ひとりが「奉仕の精神」をしっかりと持つ事、利用者の方々安心して生活の出来る「安らぎの空間の提供」を基本理念とし、これを実現させる為、定期的にアニマルセラピー(犬)として利用者と触れ合ってもらったり、地域のボランティアの方々に来て頂き、交流の機会を設けたり、ホームで行事等を行い「楽しんでもらう事」。毎日の生活の中で出てくる色々な不安や利用者一人ひとりが抱えている様々な思いを一つずつ丁寧にくり取り支援し、「穏やかに生活をしてもらう事」。これをホームの目標として取り組んでいます。

認知症状が進行していく中で、利用者様一人ひとりが様々な症状が現れてきます。その一つひとつに職員が対応をしていけるよう外部の研修会等に積極的に参加し、介護力のスキルアップ(レベルアップ)をしております。

災害時の対策として太陽光発電を導入し、緊急時の施設の稼働が出来るよう環境面の整備も行い、利用者の方々により安心して生活をしていただけるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野冬季オリンピックに合わせて開通した「五輪大橋」の近くに、平成21年8月に開設された「梅」「松」、2ユニットの当ホームがある。所長は他のグループホームでの勤務経験があり、その経験から働く立場の職員の気持ちを理解し、利用者が「自然体で生活できる」環境を大切に理念と目標を掲げ、利用者、職員と共に理想とするホームを目指している。職員の約3分の1は男性で、利用者にも4名の男性がおり、男女比も極めて「自然体」と言え、昔の多人数の一般家庭のようである。地区の民生児童委員の方々が「グループホームとは」から始まり、どんな感じの事業所かをまとめた広報を作成し住民へ情報発信されたことからホームが地区の一員として馴染んでいることが十分窺える。医療面でも協力病院の医師が往診に訪れ利用者一人ひとりの認知症のレベルに応じて助言をし、24時間体制の訪問看護と併せ利用者や家族の安心につなげている。他の施設から移動する利用者も見られるようで、ホームの理念にある「安らぎの空間」づくりが地域に理解されつつある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				